

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大成ラミック株式会社	事業所名	本社・工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託先を選定する際は、グリーン経営認証取得業者や安全性優良事業者を優先している。			○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ----- ()	トラック輸送が主であるが、鉄道貨物輸送(JR)や船舶輸送を一部活用している。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	物流子会社車両の年間排出量を把握している。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	商品を入れるダンボールのサイズを極力絞り積載率を上げている。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	納入先より、ダンボールレス化をしている。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	輸送業者に対し、輸送量に応じた積載量の車両を発注している。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	輸送先や輸送量に応じ混載便を利用している。	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	輸送先や輸送量に応じ他事業者と車両を共同で利用するなどしている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	車両の燃費表を毎年提出を求めている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	営業から物流担当部署への発注締切時間を午後2時としている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	少量多頻度納品の顧客に対して、発注量の見直し協力を求めている。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	貨物輸送の大部分を物流子会社へ委託し効率化を図っている。	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	国内6ヶ所に物流拠点を設け、一部現地配送をしている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	毎月会議にて報告し、情報共有している。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	路上駐停車のないようトラックの駐車を確保している。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	工場、倉庫間の走行において、工場から出荷する製品と、倉庫から出庫する原材料を同一の車両で往復輸送し空荷走行がないようにしている。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	大成ラミック株式会社	事業所名	本社・工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	朝1回、夕2回 運行			○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	十分な広さの駐輪場を確保			○	○	○	
04 時差通勤の実施 ()	一部部署でフレックスタイムを導入			○	○	○	